

「令和3年度に実施した仕事」の振り返りシート（A：裁量有）

記入日 令和 4 年 4 月 15 日

事業名称		母子保健事業費【育児学級】						
予算科目	款 4	衛生費	項 1	保健衛生費	目 1	母子保健事業費	事業番号 3	
事業の種別	<input checked="" type="checkbox"/> 市単独 <input type="checkbox"/> 補助対象 <input type="checkbox"/> 市が実施することが法律等で義務付けられているもの(市の上乗せあり)							
担当部署・課長名	健康推進（健康）		課 保健		係	課長名	志村 明子	
この仕事は、どの【施策】の課題を解決するための手段ですか。						施策番号	2 - 1	
【施策名】 保健・医療の充実						総合計画書 (ページ)	47	
1 この仕事の目的	① 誰（何）を対象にしていますか。 主に乳児健診後の支援を要する母子（1歳3か月まで）			① ①の対象数や量を、あらわすもの（対象指標） 乳児健診受診の結果から、グループ支援による育児支援が有効と考えられ、保健師からのお誘いにより参加のあった母子				
	② ①をどのような状態にしたいのですか。[簡潔に] 初めての育児に不安のある母が、地域の母子保健、育児支援事業の仲間づくりを通じ、また専門職からの助言を元に乳幼児の発育発達等を理解することで不安を解消して子育てをできる。			② ②の状態になった数・量をあらわすもの（成果指標） アンケート調査で参加者のうち不安が解消できたと答えた割合				
	③ そのために何をしましたか。 ①3~4ヵ月児健診の個別相談から育児不安、疑問の多い母親に対し、事業の案内と参加のお誘いをした。また、離乳食講習会への参加者においても、同様の対象者に参加を勧めた。 ②事前・事後カンファレンスを実施。 ③離乳食の見本を提示する会を2回実施。 ④参加児の月齢や季節に応じて、また、参加者からの疑問を主体としたグループワークを実施。 ⑤保育士の専門性を生かした手遊びなどの実施。			③ ③をどのくらい行いましたか（活動指標） ①年間7回の開催（新型コロナウイルス感染症蔓延防止措置のため1回休止） ②1回当たりの実施時間（カンファレンス含む） 3時間				
2 指標の推移			単位	過去2年間の実績		当該年度	成果目標	
				平成31年度実績	令和2年度実績	令和3年度実績	令和4年度目標	令和5年度目標
	対象指標	①の数値	人	8組16名	3組7名	8組16名		
	成果指標	②の数値	人	42名	27名	26名		
	目 標	②の目標値	%	100	100	100		
		目標値設定の考え方 不安が解消できた母親の数を増やす						
		活動指標	③の数値	回	7	6	7	
3 経費	事業費（実績）		円	82,430,586	85,320,713	78,465,054	※人件費の所要人数は、基本的には「人」で表わしますが、一時的な仕事については時間数での表示も可とします。その場合単位を「時間」に変更してください。 人件費（再任用職員以外） 年間単価は、8,250,000円 時間単価は、4,200円 で計算してください。 【算出根拠】令和2年度決算数値 (退職手当組合負担金、共済費も含む。)	
	財源	一般財源	円	69,141,367	66,222,206	66,194,189		
		特定財源（国・都・他）	円	14,289,219	18,747,201	12,270,865		
		（うち受益者負担）	円	0	351,306	0		
	人件費（目安）	所要人数(再任用以外)	人	0.1	0.1	0.1		
		所要人数(再任用)	人					
		職員人件費(再任用以外)	円	831,000	838,000	825,000		
職員人件費(再任用)		円						
事業費+人件費		円	83,261,586	86,158,713	79,290,054			
4 環境変化等	(1) 開始年度	平成9 年度						
	(2) 環境の変化	対象としている母子に大きな変化はないが、育児に関する情報を得る手段が新型コロナウイルス流行の影響もあり「ネット検索」が主となっている。感染症対策を取りながら、社会とのつながりを保ち、対面での交流の場を維持することは困難を伴ったが、親子同士の触れ合いは孤立感や不安の解消につながるため今後も工夫して交流の場の提供に努めたい。						

事業名称	母子保健事業費【育児学級】					
担当部署・課長名	健康推進（健康）	課	保健	係	課長名	志村 明子

5 市民等の意見	<p>この仕事に関して、令和3年度中に寄せられた市民・議会等の意見、また、市民・サービス利用者等の実態やその意識について</p> <p>参加中の母の感想、ご意見から、「コロナ禍で自宅にこもる時間が多く、他の親子と知り合う場や機会がとて少ないので、安心して足を運べる育児学級のような場があって助かる。」「ここ来れば相談できると思うと安心。」との言葉があり、対面での交流、相談の場のニーズがあることがわかった。</p>								
6 市民協働	<p>(1)この仕事の実施にあたり、市民協働に取り組みましたか。取り組んだ場合、取組手法欄の種類から番号を選択し、取組手法欄に番号を記載してください。（複数回答可）</p> <table border="1"><tr><td><input type="checkbox"/> 取り組んだ</td><td>取組手法：</td></tr><tr><td><input checked="" type="checkbox"/> 取り組まない</td><td>【取組手法の種類】</td></tr><tr><td></td><td>①共催 ②実行委員会・協議会 ③事業協力 ④事業委託 ⑤補助・助成</td></tr><tr><td></td><td>⑥情報提供・情報交換（広報媒体： ） ⑦後援・場の提供 ⑧その他（ ）</td></tr></table>	<input type="checkbox"/> 取り組んだ	取組手法：	<input checked="" type="checkbox"/> 取り組まない	【取組手法の種類】		①共催 ②実行委員会・協議会 ③事業協力 ④事業委託 ⑤補助・助成		⑥情報提供・情報交換（広報媒体： ） ⑦後援・場の提供 ⑧その他（ ）
<input type="checkbox"/> 取り組んだ	取組手法：								
<input checked="" type="checkbox"/> 取り組まない	【取組手法の種類】								
	①共催 ②実行委員会・協議会 ③事業協力 ④事業委託 ⑤補助・助成								
	⑥情報提供・情報交換（広報媒体： ） ⑦後援・場の提供 ⑧その他（ ）								
	<p>(2)令和4年度に向け、さらに適した協働の形態とするために「考え」「気付いた」点</p> <p>特になし</p>								
7 課題	<p>(1)令和3年度に課題とした内容（「令和2年度に実施した仕事」の振り返りシート7課題（3）を転記）</p> <p>新型コロナウイルスの影響による、新しい生活様式の中でも育児支援事業の一つとして、対面グループでの交流・相談の機会を維持できるよう、感染症対策を講じながら、安心して参加して頂ける会の運営を実施する。</p> <p>(2)(1)の課題解決に向けた取組や、事務改善など、令和3年度に実施したこと。</p> <p>会場を広く確保し、来所時の体調確認、手指消毒等基本的な感染症対策を講じ、参加親子間のスペースも一組にカーペット1枚を割り当て間隔を保つように配慮し、使用するおもちゃも共有を避けるよう配置した。また、新型コロナウイルス感染症蔓延防止措置期間中は中止とし、対象者へは電話相談、個別の来所相談で対応した。</p> <p>(3)(2)を踏まえた今後の課題（仕事の最適化・合理化の提案）</p> <p>新型コロナウイルスの影響による、新しい生活様式の中でも育児支援事業の一つとして、対面グループでの交流・相談の機会を維持できるよう、感染症対策を講じながら、安心して参加して頂ける会の運営を実施する。</p>								
8	<p>施策貢献状況（この仕事は、総合計画（基本計画）に掲げる課題の解決手段になっているか。）</p> <p>施策名： 保健・医療の充実</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> なっている <input type="checkbox"/> 環境の変化等により成果が減少している <input type="checkbox"/> 類似の事業が他にあり改善の余地がある 事業名（ ）</p>								
9 今後の方向性	<p>(1)仕事の方向性（「7 課題（3）」の課題及び「8 施策貢献状況」を踏まえた具体的な改革・改善案など）</p> <p><input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止</p> <p>【取組内容】</p> <ul style="list-style-type: none">対象となる母子が事業利用の機会を得られるよう、関連する母子保健事業を通して把握、支援していく。市民が安心して事業利用をできるように、感染症対策を引き続き講じながら環境設定する。 <p>(2)上記(1)の取組にあたり、克服すべき問題点、必要な調整・準備等</p> <p>乳児健診以外の事業（新生児訪問・計測・離乳食講習会・随時相談）の場も活用し対象者を把握し、乳児期早期からの参加を勧めたい。</p>								